

科目名	キャリアデザイン 1							年度	2025
英語科目名								学期	前期
学科・学年	放送芸術科 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	山田素子、笹本篤		教員の実務経験		なし	実務経験の職種			
【科目の目的】									
この科目を受講する学生は、科目の内容をよく理解し、社会人としてのマナー講義、就職活動の仕方、プレゼンテーション、グループワーク等でスキルを磨くことで、就職に対する「社会人基礎力」を向上させることがねらいである。さらに、スキルチェックブックを使用し、自らの性格や能力を自己判断をして、これからの目標を立てることで学生の「人間力」の向上を図ることがねらいである。									
【科目の概要】									
この授業では、個人ワークやグループワークを採り入れる。他人が発する情報をどのように受けとめ、理解するか、さらにそれをどのように伝えていくかを意識しながら、授業を進める。授業での行動を通じて、学生の「社会人基礎力」「人間力」を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、自分の「キャリアデザイン」を自分自身の言葉で語り、構築できるようになることを目指す。									
【到達目標】									
この科目では、学生が、日々活動している社会の中で自分自身に何が不足しているのかを理解をさせ、今後の目標を立てることで自己の意識を高める。業種・企業・職種を自分の適性や興味・関心と結びつけて理解すること、社会にでてから活動するために必要な能力を具体的にイメージして、自らが行動に移していく事で「社会人基礎力」「人間力」の向上を図り、自ら掲げた目標を達成することを目標にしている。									
【授業の注意点】									
この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。社会の動きや大学生の状況などを概説するので、自分でも、情報を収集し、起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験できない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう			レベル1 要努力			
到達目標 A 自分発見/確認	自分の方向性をしっかり認識し、下積みも実現までのステップとして理解できている		ある程度進みたい方向は確認できている			何がしたいのかははっきりしない			
到達目標 B 言語化	最大限に持てるものを言葉で表現できる		言いたいことは文章や言葉にできる			引き出してもらわないと言葉に出来ない			
到達目標 C 社会適応力	どんな方向からの質問であっても「相手が何を求めているか」を理解して適応できる		どんな質問でも素直に答えることができる			自分の言い方でしか対応できない			
【教科書】									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
試験による評価 60% 課題提出 20% 平常点 20%									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									
科目名	キャリアデザイン 1							年度	2025

英語表記				学期	前期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション(1)			学校の仕組み、学科の仕組みを理解する		
				実習の仕組み、注意事項を理解する		
				実習室の使い方を理解する		
2	オリエンテーション(2)			自己紹介や1年間の目標を掲げる		
				クラスでのコミュニケーションを図る		
3	スキルチェックブックについて(1)			スキルチェックブックの実践		
				自己分析をして自己を理解する		
4	グループワーク(1)			グループごと映像を制作する		
				企画→撮影→編集を行う		
				協同作業の大切さを理解する		
5	グループワーク(2)			グループごと映像を制作する		
				企画→撮影→編集を行う		
				協同作業の大切さを理解する		
6	プレゼンテーション			グループワークで制作した映像を使い		
				目的と意図を発表をする		
7	スキルチェックブックについて(2)			スキルチェックブックの実践		
				自己分析をして自己を理解する		
				目標を立てる		
8	スキルチェックブックについて(3)			目標達成までの道筋を考察		
				行動計画に落とし込む		
9	映像について(1)			様々な映像を観る		
				て、映像についての解析、分析の仕方を理解をする		
10	映像について(2)			様々な映像を観る		
				映像の表現力や撮影技法について理解をする		
11	社会人としてのマナー(1)			社会人としての作法を養う		
				言葉遣いを養う		
				各種マナーのスキルを養う		
12	社会人としてのマナー(2)			就職活動についてのマナーを養う		
				履歴書の書き方を養う		
				面接の仕方などスキルを養う		
13	社会人としてのマナー(3)			就職活動についてのマナーを養う		
				履歴書の書き方を養う		
				面接の仕方などスキルを養う		
14	スキルチェックブックについて(4)			目標を達成できたのか確認する		
				新たな目標を立てる		
15	まとめ			全体のまとめ		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等